

研究計画書

ゼミ名	柘植ゼミⅡ	チーム名	TFT
タイトル	甲南大学で TFT を導入することは可能であるか		
テーマ群	g)その他		
メンバー	石川忠佳 岩崎晃司 太田祥子 加藤由佳里 木下雄斗 田中里奈 塚本貴広 塚原瑠美 中島悠太 中務佑紀 吉本理沙 余田翔梧		
研究計画内容	<p>TABLE FOR TWO (略称 TFT) とは「2 人の食卓」を意味しており、カロリーを抑えたメニューを学生食堂や社員食堂、カフェなどで提供し、購入すると 1 食につき 20 円の寄付金がアフリカの学校給食支援に充てられる社会貢献活動である。寄付金が 20 円である理由は支援する給食が 1 食分 20 円だからである。TFT の理念は途上国の食糧危機と先進国の肥満問題という食の不均衡を解消することにある。2013 年 8 月末までの約 6 年間で、日本国内で 591 団体（そのうち大学の割合は 15%程度）が参加し、約 2180 万食分の寄付金が寄せられている。</p> <p>本研究では、甲南大学で TFT を導入することが可能であるかを考える。TFT を導入しても多くの人が寄付に参加するとは限らない。その原因は TFT において寄付を行うには 20 円支払う必要があるものの、人々が 20 円も寄付したくないと思っているからだと考える。そこで本研究では、甲南大学生が TFT の寄付にどのくらい支払ってもいいと考えているのかを明らかにするために、アンケートによる調査を実施する。そこで計測した金額が TFT の寄付金である 20 円より高いならば、TFT を導入した場合、多くの人が寄付に参加してくれると結論付けることができる。一方、その金額が 20 円より低いならば、金額を高める方法を考える。</p> <p>本研究を通して、人々に食糧問題に関心を持ってもらうとともに、社会貢献や国際的活動へのアクションを起こす人を増やすことを目指したい。日本での寄付は高所得者や社会貢献に関心のある人が行うというイメージがある。しかし、ヘルシーなメニューを選ぶだけで気軽に寄付できる TFT の制度を導入することによって、甲南大学においても多くの人々に食糧問題に関心を持って寄付を行ってもらうことができると考えられる。</p>		